

Step 1: 寸法を測り、カット

Gate Kit(ゲートキット)は、structural postsの間に設置されます。ゲートがきちんと閉まるようにstructural postsの間の開口寸法を測ります。小さな開口向けに手すりを切り落とす必要がある場合は、左右からの距離が均等になるようにカットします。

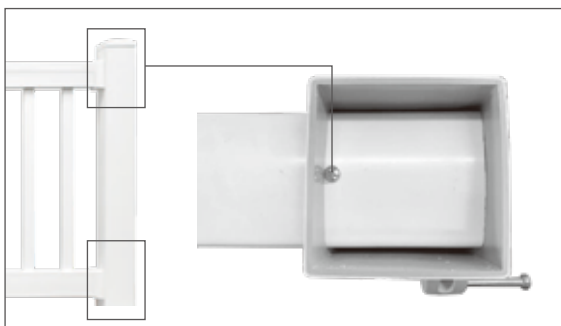
例えば、2インチ(50.8mm)カットする必要がある場合は、左で1インチ(25.4mm)、右で1インチ(25.4mm)をカットします。



Step 2: 組み立てる

bottom rail(平底レール)の事前に穴が開いている部分に、spindles(小柱)を挿入します。その後、top rail(上部のレール(笠木))を取り付けます。

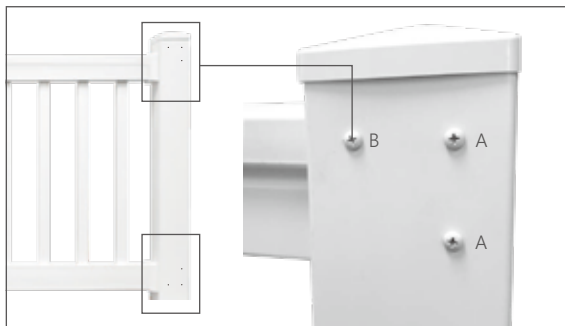
左右の事前に穴が開いている4 x 4インチのpost sleevesにtop railとbottom railを取り付けます。すべてのレールの端がpost sleevesの壁に対して平行になっていること、ゲートが直角であることを確認します。



Step 3: 柱の内部でしっかり固定する

rails(レール)がpost sleevesから抜け落ちないように、同梱されている1-1/2インチのタッピングネジ(1-1/2" Phillips Pan-Head Self-Drilling Screws)を使って固定してください。ネジの最適な取り付け箇所は、post sleeveの内側です。可能な限り柱の中の壁に近づけて、レールの中央に取り付けてください。

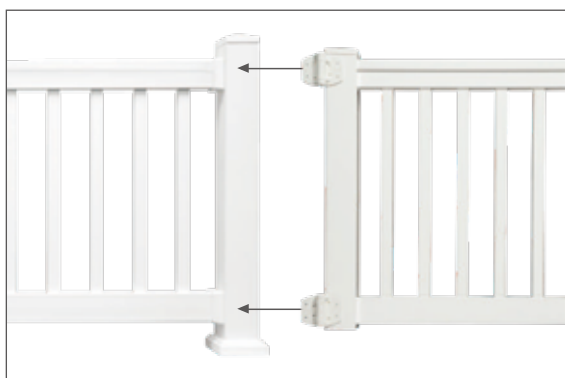
4つのすべてのpost sleeveの開口部分に同様に行ってください。



Step 4: 柱の外側をしっかりと固定する

post sleeveの内側でレールがきちんと固定されているのを確認できたら、1-1/2インチのタッピングネジを使って、post sleevesの上下の4箇所のコーナーをネジで固定します。

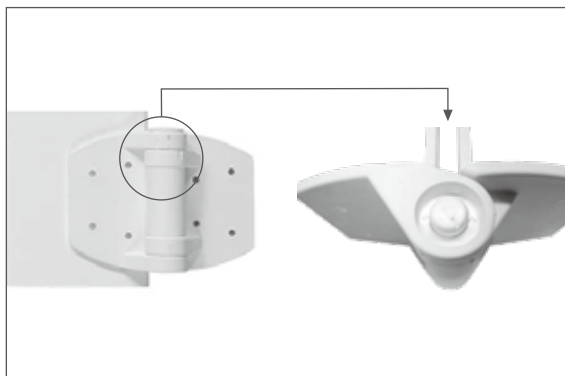
ネジの最適な取り付け箇所は、柱(A)の外側の端部分に2箇所平行に、3つ目は開口端(B)と平行に柱の端の部分の内側になります。



Step 5: ヒンジを取り付ける

ネジが取り付けられているゲートの反対側の部分に、ヒンジとラッチを取り付けます。ヒンジとラッチがpost sleeveとstructural postに固定されるまではスプリングのテンション(張力)は調整をしないでください。

structural postに留める前にpost sleeveにヒンジを取り付けてください。最適な重量配分は、可能な限りpost sleeveから離してヒンジを取り付けてください。post sleeveの上および下から1インチ以内は避けてください。同梱の1-1/2インチのタッピングネジを使ってヒンジを固定します。



Step 6: テンションを調整する

ヒンジのスプリングのテンションを調整するには、小さなスクレイドライバーを使って、ヒンジキャップの溝の部分で調整します。ヒンジの正面が揃うまでゲートはあけておきます。ゲートが閉まるまでスクレイドライバーの端を使って押し下げたりしてボタンを留めます。ボタンの表示数とその次の高い番号に変わります。好みのテンションになるまで、ボタンを弱めたりして調整をします。数字が高くなればなるほど、テンションが高くなります。低い数字に回して戻せば、テンションは低くなります。調整が終わったらヒンジキャップで塞いでください。



Step 7: ラッチとロックを取り付ける

これで、片方のゲートは固定されたので、ラッチとロックを取り付けます。ロック部分は、structural postに取り付けられます。ラッチ部分は、ゲートのhollow post sleeveに取り付けられます。ネジ穴をマークして、ロックを固定します。ロックを取り付ける位置の穴は、柱の上から1-1/4インチ下になります。同様にラッチもネジ穴をマークして、固定します。ロックとラッチがきちんと固定されているかを確認ください。残りのネジを使って、ロックとラッチを取り付けます。ロックは、正面は、2インチよりも長いタッピングねじを使い、端の部分は、1-1/2インチよりも長いネジを使います。